

2013 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS

pokka Sapporo 1000km  
42ND INTERNATIONAL POKKA SAPPORO 1000KM

8.17 予選 [土] 18 決勝 [日]

2013 AUTOBACS SUPER GT Round5 第42回 インターナショナル ポッカサッポロ1000km

## 最新情報

接戦のGT500クラス、今年も夏の鈴鹿がタイトル争いのカギを握る！

開幕戦で優勝。ランキングトップの  
RAYBRIG HSV-010第2戦を制した  
PETRONAS TOM'S SC430第3戦で優勝。ランキング3位につける  
カルソニックIMPUL GT-R

近年のSUPER GTは、夏の2戦がシリーズチャンピオン獲得を狙うにあたり、重要なラウンドと言われている。その2戦がシリーズ折り返しとなる第4戦SUGOと、今大会の第5戦インターナショナル ポッカサッポロ1000kmだ。ここで好成績を残し、ポイントランキング上位に立てば、後半戦を優位に戦える。

今シーズンは開幕戦でRAYBRIG HSV-010の伊沢拓也／小暮卓史組が優勝すると、第2戦はPETRONAS TOM'S SC430の中嶋一貴／J・ロシター組、第3戦はカルソニックIMPUL GT-Rの松田次生／JP・デ・オリベイラ組とHonda、レクサス、ニッサンの各陣営が1勝を記録する混戦模様。上位陣から一歩抜け出すチームが現れるか注目された第4戦は、その上位陣が次々と後退し、ARTA HSV-010のR・ファーマン／松浦孝亮組が逆転優勝した。

その結果RAYBRIG HSV-010伊沢／小暮組が35ポイント、DENSO KOBELCO SC430の脇阪寿一／石浦宏明組が34ポイント、カルソニックIMPUL GT-Rデ・オリベイラ／松田組が31ポイント。トップ3が4ポイント差にひしめき、さらにARTA HSV-010のR・ファーマン／松浦孝亮組が7ポイント差の28ポイントで大接戦のまま鈴鹿ラウンドを迎えることになった。ライバルを突き放してシリーズ制覇に向かうチームが出現するか？ 夏の鈴鹿、インターナショナルポッカサッポロ1000kmがタイトル争いのカギを握る。

第4戦優勝の勢いそのまま鈴鹿を  
迎えるARTA HSV-010ランキング2位で鈴鹿に乗り込む  
DENSO KOBELCO SC430

## CR-Z対プリウス。GT300クラスはハイブリッドバトルに注目！

GT300クラスの話はCR-Zとプリウスによるハイブリッド車対決だ。開幕戦はメルセデスSLSの平中克幸／B・ビルドハイム組が優勝したが、第2戦からはハイブリッド車同士の戦いが始まった。第2戦で初優勝を飾ったPanasonic apr PRIUS GT新田守男／嵯峨宏紀組と、第3戦、第4戦と連勝したARTA CR-Z GT高木真一／小林崇志組。この2戦でトップ争いを展開し連続2位表彰台を記録したのがMUGEN CR-Z GTの武藤英紀／中山友貴組だ。ランキングは49ポイントで武藤／中山組がトップに、高木／小林組が40ポイントで続き、GAINER DIXCEL SLS平中／ビルドハイム組が36ポイントで続いている。

ポッカサッポロ1000kmでは重いハンディウエイト(1ポイントに対して2kg搭載)が課せられ、厳しい戦いが予想されるが、通常の3倍以上の距離を走るだけに燃費などでハイブリッド車が優位。その利点を生かすことができれば優勝も見えてくる。毎年鈴鹿で上位に食い込んでくる外車勢、今シーズン予選で3回のポールポジションを記録する速さを見せているスバルBRZも上位争いに絡んでくると予想され、ハイブリッド勢とのバトルに注目だ。



ランキングトップの  
MUGEN CR-Z GT



ランキング2位の  
ARTA CR-Z GT

## 1000kmの長丁場が数々のドラマを生む。

### 神業的なピット作業、勝敗を左右する3人目のドライバーにも注目

SUPER GTシリーズは通常250kmから500kmのレース距離で争われるが、ポッカサッポロ1000kmはその2倍から3倍以上のレース距離で争われる。加えて夏の厳しい暑さがドライバー、マシンに襲いかかる、シリーズ中で最も過酷な戦いでもある。ドライバー交替、ガソリン補給、タイヤ交換のためのピットイン回数も増えるため、ピット作業の遅れが勝敗に大きく影響する。

また本大会は3人までドライバー登録ができる。近年GT500クラスは2人体制のままのチームがほとんどだが、GT300クラスは勢いのある若手や、実績十分のベテランが加わることが多く、今年はどんな選手が参戦するのか、第3ドライバーにも注目したい。



勝敗に大きく影響する  
ピット作業(※イメージ)

## 夕闇の中をヘッドライトの光が駆け抜け、勝者を称える花火が戦いのフィナーレを飾る

太陽が西の空に沈み、サーキットが夕闇に包まれる頃にチェッカーフラッグが振られる。そしてゴール後に勝者はもちろん、全てのドライバー、チームの健闘を称える花火が打ち上げられる。大輪の花が次々と夜空に咲き、暑く長い戦いの終わりを告げてくれる。



夕闇の走行(左)とチェッカー後の花火(右)  
(※イメージ)

## 2014年型GT500マシン、鈴鹿サーキットでデモ走行決定！！

2014年のSUPER GTシリーズは、GT500クラスにDTM(ドイツ・ツーリングカー選手権)と共通の車両規定を導入する。トヨタ、ニッサン、Hondaの3メーカーがともに新型車両を開発し、新たな戦いをスタートさせることになった。その3メーカーのニューマシンが揃って登場し、ポッカサッポロ1000kmの決勝日にデモ走行を披露する。関係者、ファンの間で話題となっているニューマシンの姿が明らかとなる。

■日時:8月18日(日)10:55~11:05(予定)

■場所:国際レーシングコース 東コース

※走行ドライバーなどの詳細は決定次第ホームページでご案内いたします。

## チケット好評発売中！

[価格はすべて税込]

### ■前売券

観戦券(2日間有効)	
大人 (ゆうえんちモトピアパスポート1日付)	中・高校生 (入場のみ)
5,500円	1,600円

グループチケット(2日間有効) (ゆうえんちモトピアパスポート1日付)		
3名	4名	5名
14,850円	18,700円	22,000円

B・Qエリア付き観戦券 (エリアは決勝日のみ有効)
6,000円

V-1・2・3指定席券(決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です ※3歳以上共通 V2席が3エリアに分かれて購入可能に！
3,500円

### V2指定席+三重地物一番セット ※MOBILITY STATIONでの限定販売

V2指定席+三重地物一番セット ※別途観戦券必要 ・V2指定席(B・Qエリア入場可) ・ポッカサッポロドリンク1本付き ・三重地物一番メニュー ランチクーポン付
4,000円

### ファミリーでお得に観戦！ファミ得チケット ※MOBILITY STATIONでの限定販売

前売ファミ得(2日間有効)	B・Qエリアセット (エリアは決勝日のみ有効) ゆうえんちモトピアパスポート1日付
	大人2人+子ども1人(3歳~高校生)
大人2人+子ども2人(3歳~高校生)	16,800円

※ファミ得チケット V2指定席セットは完売いたしました。

### オリジナル応援グッズの付いたファンシートでお気に入りのメーカー・チームをみんなで一緒に応援しよう！

※MOBILITY STATIONでの限定販売

Hondaファンシート(2日間有効)		
観戦券+V1指定席セット		V1指定席
大人 (ゆうえんちモトピアパスポート1日付)	子ども(3歳~高校生) (観戦のみ)	3歳以上共通 ※別途観戦券必要
6,500円	2,600円	2,000円

ARTAファンシート(2日間有効)		
観戦券+V1エリアセット		V1エリア
大人 (ゆうえんちモトピアパスポート1日付)	子ども(3歳~高校生) (観戦のみ)	3歳以上共通 ※別途観戦券必要
6,500円	2,600円	2,000円

※SUBARUファンシートは完売いたしました。

## ■パドックパス(2日間有効・別途観戦券必要)

パドックでドライバー、レースクイーンに間近で会えたり、ピット裏でのチームの作業を見たり、コースサイドにある激感エリアで迫力あるレースを観戦できたり、思う存分にレースをお楽しみいただけます。

パドックパス ＜大人(中学生以上)＞	パドックパスJr ＜子ども(3歳～小学生)＞
10,000円	1,500円



激感エリア(イメージ)

## レースの迫力を激感エリアで体感しよう！

2コーナーイン側・S字コーナーの激感エリアにご入りいただけます。

※昨年開設いたしました1コーナー手前イン側の激感エリアは、本年は開設いたしません。

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)およびホスピタリティテラス(ピットビル3階)にはご入りいただけません。

※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

★ご入場エリア パドック ピットウォーク 激感エリア B・Qエリア

★特典 鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製プラスチックパドックパスを限定販売します。

●鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

●パドックパスにはシリアルナンバーがついています。

※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡しします。

※パドックパスJr.は特製カード型パドックパスではありません。

チケットの詳細は鈴鹿サーキットホームページをご覧ください。

<http://www.suzukacircuit.jp/>

## チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

### ■オンラインショッピングサイト(MOBILITY STATION)

P C <http://mls.mobilityland.co.jp>

モバイル <http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/>

(鈴鹿サーキット オンラインショッピングサイト)

8月11日(日)24:00まで(24時間販売)

### ■お電話による通信販売 ☎059-378-1100<通信販売専用電話>

(鈴鹿サーキットモビリティステーション)

8月11日(日)16:00まで

(販売時間10:00～16:00)

### ■窓口での販売

(鈴鹿サーキットモビリティステーション)

8月17日(土)17:00まで

(販売時間10:00～17:00)

### ■プレイガイド・コンビニエンスストア

販売期間:8月17日(土)まで ※一部販売期間が異なる店舗がございます

●ローソンチケット ●イープラス ●電子チケットぴあ ●ツインリンクもてぎチケットセンター

●ローソン ●セブン-イレブン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●ミニストップ

※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

鈴鹿サーキット プロモーションパートナー **LAWSON**

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットモビリティステーション ☎059-378-1111(代)